

職業実践専門課程の基本情報について

学校名	設置認可年月日	校長名	所在地
北海道ハイテクノロジー専門学校	昭和62年12月4日	塩野 寛	〒061-1396 恵庭市恵み野北2丁目12番1 (電話) 0123-36-8119
設置者名	設立認可年月日	代表者名	所在地
学校法人産業技術学園	昭和63年1月5日	宮川 藤一郎	〒061-1396 恵庭市恵み野北2丁目12番 (電話) 0123-36-8119
目的	歯科衛生士としての知識・技能・態度を養い、口腔健康の担い手として保健・医療・福祉に貢献できる人材を本校の建学の理念(実学・人間・国際教育)に基づき育成する。幅広い歯科衛生活動、集団と個性にも対応できるコミュニケーション力を身につけ、地域社会で活躍できる能力を修得する。		
分野	課程名	学科名	専門士 高度専門士
	医療専門課程	歯科衛生士学科	平成6年文部科学大臣 告示84号
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な 総授業時数又は総単位数	講義
	昼夜	97	45
	昼間		演習
			32
			実習
			20
			実験
			実技
生徒総定員	生徒実員	専任教員数	兼任教員数
120 人の内数	94 人の内数	3 人の内数	48 人の内数
総教員数	51 人の内数		
学期制度	■前期:4月4日～9月30日 ■後期:10月1日～3月8日	成績評価	■成績表: 有 ■成績評価の基準・方法 評価試験およびレポート評価(実習)
長期休み	■学年始:4月4日 ■夏季:7月25日～8月17日 ■冬季:12月23日～1月11日 ■学年末:3月8日	卒業・進級条件	学年単位取得及び卒業の認定は、本校の教育課程に定める各学年における全ての各学科科目の単位を修得したとき、学校長が行う。
生徒指導	■クラス担任制: 有 ■長期欠席者への指導等の対応 学生・保護者との面談	課外活動	■課外活動の種類 地域清掃・公衆衛生活動(恵庭市・苫小牧市) ■サークル活動: 有
就職等の状況	■主な就職先、業界等 一般歯科クリニック ■就職率 ^{※1} : 100 % ■卒業者に占める就職者の割合 ^{※2} : 100 % ■その他 (平成 27 年度卒業者に関する 平成28年5月1日 時点の情報)	主な資格・検定等	・歯科衛生士免許 ・歯科医療事務管理士免許
中途退学の現状	■中途退学者 0名(他転科者2名) ■中退率 0 % 平成27年4月1日時点において、在学者96名(平成27年4月1日入学者を含む) 平成28年3月31日時点において、在学者94名(平成28年3月31日卒業者をを含む) ■中途退学の主な理由 ■中退防止のための取組 低学力者対策は放課後、補講を行う。目的意識喪失や現実逃避の学生はスクールカウンセラーと協力して精神面のサポートを行い、中途退学0名を目指す。		
ホームページ	URL: http://www.hht.ac.jp		

1.「専攻分野に関する企業、団体等(以下「企業等」という。)との連携体制を確保して、授業科目の開設その他の教育課程の編成を行っていること。」関係

(1)教育課程の編成(授業科目の開設や授業内容・方法の改善・工夫等を含む。)における企業等との連携に関する基本方針
 企業・業界の求める知識・技術が教育課程に反映されるように業界の動向に関して情報交換を行い、教育課程の改善および改定を定期的実施することを目的とする。

(2)教育課程編成委員会等の位置付け

委員は3名で構成され、歯科保健のニーズや歯科業界における先進医療への歯科衛生士の役割などについて、委員会での審議を通じて示された企業等の要請その他の情報、意見を十分に生かし、実践的かつ専門的な職業教育を実施するにふさわしい教育課程の編成に努めることに従い委員会を運営する。また得られた意見、内容について学科内で検討、改善し、学生教育に反映させる。

(3)教育課程編成委員会等の全委員の名簿

平成28年8月30日現在

名前	所属	任期	種別
奥山 恒夫	株式会社 恵庭リサーチ・ビジネスパーク 代表取締役社長	2015.9月～ 2017.8月	①業界団体役員
八木 康之	国立研究開発法人 産業技術総合研究所 北海道センター所長	2015.9月～ 2017.8月	③企業・関係施設役員
西村 浩樹	株式会社ホクド一営業部 部長	2015.9月～ 2017.8月	③企業・関係施設役員
前仲 勝実	北海道大学大学院薬学研究院 生体分子機能学研究室 教授	2015.9月～ 2017.8月	②学会・学術機関有識者
菅原 直臣	NPO法人北広島ITネットワーク 理事長	2015.9月～ 2017.8月	①業界団体役員
藤浦 将輝	株式会社ナスカコンピュータ システムエンジニア	2015.9月～ 2017.8月	③企業・関係施設役員
前田 元照	札幌市私立幼稚園連合会 会長	2015.9月～ 2017.8月	①業界団体役員
若林 尚子	恵庭市なのはな保育園 園長	2015.9月～ 2017.8月	③企業・関係施設役員
清水 敏博	医療法人社団慶心会介護付き有料老人ホーム ラ・デュース恵み野 施設長	2015.9月～ 2017.8月	③企業・関係施設役員
石本 良之	一般社団法人 医療秘書教育全国協議会 事務局長	2015.9月～ 2017.8月	①業界団体役員
藤本 尚之	医療法人社団 尾形病院 事務長	2016.9月～ 2017.8月	③企業・関係施設役員
足立 晋	医療法人北晨会 恵み野病院 事務長	2015.9月～ 2017.8月	③企業・関係施設役員
大橋 由美子	公益社団法人 北海道看護協会 札幌第三支部長	2015.9月～ 2017.8月	①業界団体役員
佐藤 真理	医療法人北晨会 恵み野病院 看護部長	2015.9月～ 2017.8月	③企業・関係施設役員
蔵重 勉	特定医療法人 修道会 本田記念病院 看護部長	2015.9月～ 2017.8月	③企業・関係施設役員
太田 宗夫	一般社団法人 全国救急救命士教育施設協議会 代表理事	2015.9月～ 2017.8月	②学会・学術機関有識者
高橋 順一郎	医療法人社団 愛心館 理事長	2015.9月～ 2017.8月	③企業・関係施設役員
瀧川 裕子	一般社団法人 北海道歯科衛生士会 副会長	2015.9月～ 2017.8月	①業界団体役員
尾島 玲子	医療法人社団 尾島歯科医院 理事	2015.9月～ 2017.8月	③企業・関係施設役員
中川 喬	北海道公立大学法人札幌医科大学 名誉教授	2015.9月～ 2017.8月	②学会・学術機関有識者
畑中 孝輔	日本赤十字社 北見赤十字病院 眼科検査課 課長	2015.9月～ 2017.8月	③企業・関係施設役員
安田 義幸	株式会社 馬場義肢製作所 代表取締役	2015.9月～ 2017.8月	③企業・関係施設役員
柏崎 カネ	有限会社 三愛義肢製作所 代表取締役	2015.9月～ 2017.8月	③企業・関係施設役員
相馬 充晴	一般社団法人 日本義肢協会 北海道支部長	2015.9月～ 2017.8月	①業界団体役員
真下 泰	公益社団法人 日本臨床工学技士会 副会長	2015.9月～ 2017.8月	①業界団体役員
佐藤 忠寿	医療法人社団 養生館 苫小牧日翔病院 臨床工学技士 主任	2015.9月～ 2017.8月	③企業・関係施設役員

※委員の種別の欄には、委員の種別のうち以下の①～③のいずれに該当するか記載すること。

- ①業界全体の動向や地域の産業振興に関する知見を有する業界団体、職能団体、地方公共団体等の役員(1企業や関係施設の役員は該当しません。)
- ②学会や学術機関等の有識者
- ③実務に関する知識、技術、技能について知見を有する企業や関係施設の役員

(4)教育課程編成委員会等の年間開催数及び開催時期

年間開催数:2回 開催時期:7月と2月

(開催日時)

平成28年2月13日 13:30～15:30 北海道ハイテクノロジー専門学校 第7校舎 メディカルルーム

平成28年7月8日 13:30～15:30 北海道ハイテクノロジー専門学校 第7校舎 メディカルルーム

平成29年2月13日 (予定) 北海道ハイテクノロジー専門学校 第7校舎 メディカルルーム

(5)教育課程の編成への教育課程編成委員会等の意見の活用状況

学生と卒業生が交流できる環境を整え、就職後の意識や態度などについて意見をいただいた。臨床実習においてもコミュニケーション力や思考力は欠かせない人材育成である。同窓会を機能させ、卒後研修の充実をはかる。

2. 「企業等と連携して、実習、実技、実験又は演習(以下「実習・演習等」という。)の授業を行っていること。」関係

(1)実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針

歯科衛生士業務における必要な知識、技能、実践力を習得する。具体的には感染対策、器具、器材の取扱いや歯科診療の流れ、アシスト、患者様への支援、アプローチを学びコミュニケーション力を身につけた人材の育成をはかる。

(2)実習・演習等における企業等との連携内容

臨地実習および学内実習 企業セミナー・専門歯科学会セミナー

(3)具体的な連携の例

科目名	科目概要	連携企業等
臨床実習	臨床現場における歯科衛生士業務全般に関する実習を行う	・北海道大学歯科診療センター・札幌医科大学口腔外科外来・医療法人社団養生館青葉病院歯科口腔外科
歯科予防処置 歯科診療補助 歯科保健指導	う蝕予防のためのカリオロジー実習 先端医療インプラント講義 ライオンセミナー 予防歯科	・さいとう歯科室・医療法人社団みかみ歯科矯正歯科医院・ライオン歯科材株式会社
歯科口腔介護	訪問口腔ケア・障害者施設訪問口腔ケア	・新札幌いつた歯科・加藤歯科医院・きたひろ東口歯科

3. 「企業等と連携して、教員に対し、専攻分野における実務に関する研修を組織的に行っていること。」関係

(1)推薦学科の教員に対する研修・研究(以下「研修等」という。)の基本方針

学園および学校が実施する担任研修・研究授業・教務部長会議を通じて教授力と資質向上を図る。また日本歯科衛生士学会をはじめ、北海道歯科衛生士養成機関連絡協議会教員研修会(年2回実施 目的①教員の学生相談・指導力、クラス運営力を養うこと②カリキュラム目標、方略、評価などを立案できる能力を養う)・全国歯科衛生士教育協議会教員研修会・北海道歯科衛生士会研修・滋慶学園グループ部会専任教員研修に参加し、スキルアップを図る。

(2)研修等の実績

①専攻分野における実務に関する研修等

H27年7月11・12日 平成27年度 滋慶学園グループ 歯科衛生士教員研修 3名 感染対策マニュアル・各校の国試対策について
H27年8月4日 北海道歯科衛生士養成機関連絡協議会専任教員研修 3名 歯科衛生過程の進め方、学生のやる気を引き出すアカデミックコーチング
H27年9月20日～22日 日本歯科衛生士学会 3名 食べる楽しみを支える口腔ケア
H27年11月28・29日 日本歯科衛生士教育学会 1名 アクティブ・ラーニング

②指導力の修得・向上のための研修等

H27年7月23日 職業実践課程研修 1名
H27年7月31日 北海道地区合同教務研修 3名 教育に関する研修会
H27年8月2日 松風 感染管理セミナー 1名
H27年8月23日 がん患者の周術期口腔管理における医科歯科連携スキルアップセミナー ・口腔内写真撮影法について 2名
H27年9月10日 担任研修 1名 教育に関する研修会
H27年9月24日 担任研修 1名 教育に関する研修会
H27年10月13日 拡大マネジメント研修 1名 教育に関する研修会
H27年11月6日 担任研修 1名 教育に関する研修会
H27年11月26日 新入生担任研修 1名 教育に関する研修会

(3)研修等の計画

①専攻分野における実務に関する研修等

H28年6月26日 北海道歯科衛生士会研修 1名 歯周病のアプローチ方法
H28年7月2・3日 平成28年度 滋慶学園グループ 歯科衛生士教員研修 1名 次世代のデジタルデンティストリー 模擬試験成績分析 問題作成
H28年7月17日 経口摂取に向けた摂食嚥下リハビリと口腔ケア実技セミナー 2名
H28年7月24日 北海道歯科衛生士会研修 1名 発達障害者支援 合理的配慮とは
H28年8月8・9日 北海道歯科衛生士養成機関連絡協議会専任教員研修 3名 アクティブ・ラーニング 動画撮影による教授方法
H28年9月18日・19日 日本歯科衛生士学会 1名 口からはじまる健康長寿
H28年12月10・11日 日本歯科衛生士教育学会 1名 歯科衛生士の未来に向けて

②指導力の修得・向上のための研修等

H28年5月26日 学内国試総括研修 3名
H28年6月29日 JESC国試対策研修会北海道地区合同教務研修 3名 教育に関する研修会
H28年7月7日 1年次担任研修 1名
H28年7月22日 職業実践専門課程研修 1名
H28年9月 担任研修 2名

4. 「学校教育法施行規則第189条において準用する同規則第67条に定める評価を行い、その結果を公表していること。また、評価を行うに当たっては、当該専修学校の関係者として企業等の役員又は職員を参画させていること。」関係

(1)学校関係者評価の基本方針

学校法人産業技術学園が設置する専修学校における教育・運営活動等の状況について、自ら行う点検及び評価の項目並びにその実施体制等について検証し、問題点を把握の上目標を明確化し、必要な支援・改善を行うことにより、教育水準の向上と質の保証を図ることが重要である。また多くの外部評価を受けることにより学校評価の精度を高め、客観性を持った評価による改善を目指したい。特に卒業生、保護者、地域住民、企業等との相互理解と連携を確立し、学校の説明責任を果たしていくよう努めることにより学校の組織力を高め地域に支えられる学校づくりにも貢献したい。

(2)「専修学校における学校評価ガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの評価項目	学校が設定する評価項目
(1)教育理念・目標	1-1理念・目的・育成人材像は定められているか
(2)学校運営	2-4運営方針は定められているか 2-5事業計画は定められているか
(3)教育活動	3-10各学科の教育目標、育成人材像はその学科に対応する業界の
(4)学修成果	4-19就職率(卒業者就職率・求職者就職率・専門就職率)の向上が
(5)学生支援	5-23就職に関する体制は整備されているか
(6)教育環境	6-31施設・設備は教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか
(7)学生の受入れ募集	7-34学生募集活動は適正に行われているか
(8)財務	8-38中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか
(9)法令等の遵守	9-42法令、設置基準などの遵守と適正な運営がなされているか
(10)社会貢献・地域貢献	10-46学校の教育資源や施設を活用した社会貢献を行っているか
(11)国際交流	11-48グローバル人材の育成に向けた国際交流などの

※(10)及び(11)については任意記載。

(3)学校関係者評価結果の活用状況

自己点検自己評価については、「計画」「実践」「評価」の一連のサイクルを行うために、学校評価ガイドラインに設定した目標や、具体的な計画の実践状況について学校評価委員会を開催し懇談を通じての意見や要望を聴取する。聴取した内容は、学校運営に関する事項は、学内の学校長、副校長、教務部長、部署長の会議である「運営会議(定例会毎週1回)」にて運営の見直し並びに次年度事業計画修正への検討を行い12月には改善計画を含めた事業計画を策定する。一方教育活動については教員及び学科長で構成される学内組織である「教育改革委員会(定例会月1回開催)」にて検討し、1月には次年度カリキュラムの改定にむけての検討ならびに日々の授業運営の改善にを実施している。

(4)学校関係者評価委員会の全委員の名簿

平成28年8月30日現在

名前	所属	任期	種別
佐藤 忠寿	医療法人社団 養生館 苫小牧日翔病院	2015.9月～ 2017.8月	卒業生
野 清美	動物科学科保護者	2015.9月～ 2017.8月	保護者
大場 真哉	帯広大谷高等学校	2015.9月～ 2017.8月	高等学校
早坂 貴敏	恵庭市市議会議員	2015.9月～ 2017.8月	近隣関係
奥山 恒夫	株式会社 恵庭リサーチ・ビジネスパーク	2015.9月～ 2017.8月	企業等委員
足立 晋	医療法人北農会 恵み野病院	2015.9月～ 2017.8月	企業等委員

※委員の種別の欄には、学校関係者評価委員として選出された理由となる属性を記載すること。

(例)企業等委員、PTA、卒業生、校長等

(5)学校関係者評価結果の公表方法・公表時期

ホームページ・広報誌等の刊行物・その他()

URL: <https://www.hht.ac.jp/resources/pdf/abm00027340.pdf>

5.「企業等との連携及び協力の推進に資するため、企業等に対し、当該専修学校の教育活動その他の学校運営の状況に関する情報を提供していること。」関係

(1)企業等の学校関係者に対する情報提供の基本方針

自己点検、自己評価について教育課程編成委員会で報告を行い、学科だけではなく学校としての視点で意見を頂く。

(2)「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの項目	学校が設定する項目
(1)学校の概要、目標及び計画	(1)学校の概要、目標及び計画
(2)各学科等の教育	(2)各学科等の教育
(3)教職員	(3)教職員
(4)キャリア教育・実践的職業教育	(4)キャリア教育・実践的職業教育
(5)様々な教育活動・教育環境	(5)様々な教育活動・教育環境
(6)学生の生活支援	(6)学生の生活支援
(7)学生納付金・修学支援	(7)学生納付金・修学支援
(8)学校の財務	(8)学校の財務
(9)学校評価	(9)学校評価
(10)国際連携の状況	(10)国際連携の状況
(11)その他	(11)その他

※(10)及び(11)については任意記載。

(3)情報提供方法

HP <https://www.hht.ac.jp/disclose-information.html>

授業科目等の概要

(医療専門課程歯科衛生士学科) 平成28年度															
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
○			数学・統計学 Mathematics・Statistics	各種データのまとめ方、読み取り方を学ぶ。	1前	16	1	○			○			○	
○			国語表現法 Methodology of Language Expression	事実や意見を論理的に表現できる文章力を会得する。	1前	16	1	○			○			○	
○			栄養と人体 (栄養指導) Nutrition Guidance	栄養学の概要を学び歯科保健指導及び衛生教育を適切に行うのに必要な栄養・食事指導を理解する。	1前	30	1	○		△	○			○	
○			歯科臨床概論 Outline of Dentistry Clinical Pathology	歯科医療の概要を学び、その診療補助の基礎となる知識を習得する。	1前	16	1	○			○			○	
○			保健体育 Health and Physical Education	健康や体力づくりに関する基礎的な知識や方法について学ぶ。	1通	30	1			○	○			○	
○			カウンセリング理論 Counseling Theory	カウンセリング理論を学び、面接技法を理解する。	1後	16	1	○			○			○	
○			生活科学 Life Science	衣・食・住生活の基本について学び、人間の暮らしについて理解する。	2後	30	1	○	△		○			○	
○			心理学 Psychology	発達心理・人間形成・人間の行動等について学ぶ。	1前	20	1	○			○			○	
○			教育学 Pedagogy	教育の原理を基礎知識として人間形成における教育の機能を理解する。	1前	20	1	○			○			○	
○			歯科衛生士概論 Outline of Dental Hygienist	歯科衛生士の意義について十分理解する。	1前	30	2	○	△		○			○	
○			生物 Biology	生物学の概要を学び、理解する。	1前	16	1	○			○			○	
○			解剖学 Anatomy	人体の構造を学習し全体的及び局所的に観察して施術との関連を深め理解する。	1前	30	2	○			○			○	
○			組織・発生学 Histology Embryology	組織・発生学の概要を学び歯の発生、歯の組織等について十分理解する。	1前	16	1	○			○			○	
○			生理学 Physiology	生理学の概要を学び、理解する。	1前	30	2	○			○			○	
○			生化学 Biochemistry	人体ならびに口腔組織を構成している物質の化学的性質とそれらの物質の代謝を理解する。	1後	20	2	○			○			○	
○			口腔解剖学 Oral Anatomy	口腔の構造の概要・歯周組織の形態・口腔の隣接組織の構造について理解する。	1前	30	2	○			○			○	
○			歯牙解剖学 Dental Anatomy	口腔における歯・歯列の役割・構造を理解する。	1後	20	1	○		△	○			○	
○			口腔生理学 Oral Physiology	生理学の概要を学び、歯及び口腔の生理について理解する。	1後	16	1	○			○			○	
○			病理学・口腔病理学 Pathology Oral Pathology	病理学の概要を学び、歯及び口腔の病理について理解する。	1後	30	2	○			○			○	
○			薬理学・歯科薬理学 Pharmacology	薬理学の概要を学び、歯科薬理学について理解する。	1後	30	2	○			○			○	
○			微生物学・口腔微生物学 Microbiology Oral Microbiology	微生物学の概要を学び、理解する。	1前	30	2	○			○			○	
○			歯・口腔の健康と予防 Tooth Oral Health & Prevention	予防歯科の概念と歯科疾患の予防、ライフステージごとの口腔保健管理について学ぶ。	1後	16	1	○			○			○	
○			口腔衛生・疫学 Oral Hygiene・Epidemiology	予防歯科の概念と歯科疾患の予防、ライフステージごとの口腔保健管理について学ぶ。	2前	20	1	○			○			○	
○			口腔保健と地域保健 Oral Health & Regional Healthcare	予防歯科の概念と歯科疾患の予防、ライフステージごとの口腔保健管理について学ぶ。	2前	20	1	○			○			○	
○			口腔保健統計 Oral Health Statistics	予防歯科の概念と歯科疾患の予防、ライフステージごとの口腔保健管理について学ぶ。	3前	16	1	○			○			○	
○			衛生学・公衆衛生学 Hygienics Public Health	健康と予防医学の概念および人間をとりまく自然的・社会的環境要因と健康の関係について理解する。	2前	30	2	○			○			○	

○		衛生行政・社会福祉 Health Administration Social Welfare	衛生行政・社会福祉の概要を学び業務を適正に実施できる必要な法規について十分理解する。	2後	30	2	○			○				○
○		隣接医学 Contiguity Medicine	隣接医学を学び全身的関連を理解する。	2後	30	2	○			○				○
○		保存修復学 Operative Dentistry	保存修復学の概要を学び、その診療補助の能力を習得する。	2前	30	1	○							
○		歯内療法学 Endodontics	歯内療法学の概要を学び、その診療補助の能力を習得する。	2前	20	1	○			○				○
○		歯周療法学 Periodontics	歯周療法学の概要を学び、その診療補助の能力を習得する。	2前	20	1	○			○				○
○		歯科補綴学 Dentistry Prosthodontics	歯科補綴学の概要を学び、その診療補助の能力を習得する。	2後	30	1	○			○				○
○		歯科矯正学 Orthodontics	矯正歯科学の概要を学び、その診療補助の能力を習得する。	2前	30	1	○			○				○
○		口腔外科学 Maxillofacial Surgery	口腔外科学の概要を学び、その診療補助の能力を習得する。	2前	30	1	○			○				○
○		小児歯科学 Pedodontics	小児歯科学の概要を学び、その診療補助の能力を身につけ、さらに心身障害児などの対応について理解する。	2後	30	1	○			○				○
○		障害者・高齢者 歯科疾患論 Disability and Oral Health・Geriatric Dentistry	障害者・高齢者歯科の概要を学び、その診療補助の能力を習得する。	2前	30	1	○			○				○
○		ウ蝕予防処置 I Caries Prevention Treatment I	ウ蝕予防処置について十分理解しその手技を習得する。	1後	30	1	○		△	○	△	○	△	○
○		ウ蝕予防処置 II Caries Prevention Treatment II	ウ蝕予防処置について十分理解し相互実習を通じて共同動作を実践する。	2前	30	1	○		△	○	○	○	△	○
○		歯科予防処置論 I Prevention Scaling I	口腔疾患を予防し、人々の歯・口腔の健康を維持・増進させるために専門的な知識、技術および態度を習得する。	1通	60	2	○		△	○	△	○	△	
○		歯科予防処置論 II Prevention Scaling II	歯科予防処置についての専門知識と技術、および態度を習得する目的と意義を理解する。	2通	90	3	△		○	○	△	○	△	
○		歯科予防処置論 III Prevention Scaling III	歯周病を予防し、人々の歯・口腔の健康を維持・増進させるために専門的な知識、技術および態度を習得する。	3前	30	1	△		○	○	△	○	△	
○		歯科口腔介護 Oral Care	要介護者の病状、心身の状況及びその置かれている環境を的確に把握し、口腔環境を整備し支援することを学ぶ。	2後	30	1	○	△	△	○	△	○	△	
○		歯科保健指導論 I Dentistry Hygiene Guidance I	対象となる個人と集団の歯科保健指導に必要な基本的知識、技術および態度を習得する。	1通	60	2	○		△	○	△	○	△	
○		歯科保健指導論 II Dentistry Hygiene Guidance II	歯科保健指導及び歯科衛生教育の基本的技法を習得し、臨床及び公衆衛生活動に対応し得る能力を得る。	2通	60	2	○		△	○	△	○	△	
○		歯科保健指導論 III Dentistry Hygiene Guidance III	歯科保健指導の基礎となる対象者となる対象者の把握と評価に基づいた歯科衛生過程を習得する。	3前	30	1	△		○	○	△	○	△	
○		歯科診療補助論 I Dentistry Medical Examination and Treatment Assistance I	歯科診療補助に関する知識と基本的実技を習得し、臨床の場に対応し得る能力を身につける。	1	60	2	△		○	○	△	○	△	
○		歯科診療補助論 II Dentistry Medical Examination and Treatment Assistance II	さまざまなライフステージにおける高度歯科医療に対応するために、専門的な歯科診療の補助に関する基礎的知識、技術および態度を身につける。	1通	90	3	△		○	○	△	○	△	
○		歯科診療補助論 III Dentistry Medical Examination and Treatment Assistance III	専門的な歯科診療の補助に対応するために必要な基本的知識、技術および態度を習得する。	2通	30	1	△		○	○	△	○	△	
○		歯科放射線学 Dental Radiology	歯科放射線学を学び、歯科衛生士が果たすべき役割を認識し、臨床の場に対応する能力を身につける。	3前	20	1	○		△	○		△	○	
○		歯科材料学 Dental Material	歯科材料の基本的性質、用途、取り扱い方などの基本的知識を学ぶ。	2前	30	1	○		△	○				○
○		英語 I・II English I・II	日常生活及び専門分野に関する英語によるコミュニケーションがとれるよう	1後	30	2	○			○				○
○		情報科学 ・コンピュータ Information Science/Computer	情報伝達・処理について学び、コンピュータの基礎知識を得て、操作ができるようになる。	1後	30	1	△	○		○				○
○		臨床検査法 Clinical Inspection	臨床検査法を学び、身体の情報を理解し把握する能力をやしなう。	2後	16	1	○		△	○				○

○		社会保険・請求事務 Social Insurance and Claim Office Work	保険診療の流れを理解し、診療報酬請求書の作成の流れを理解する。	2 後	16	1	○			○			○	
○		基礎介護技術 Basic Care Technology	基礎的介護技術を学び、施設実習で実践できる能力を身につける。	3 前	16	1	△		○	○			○	
○		摂食嚥下 リハビリテーション Swallowing Rehabilitation	摂食・嚥下リハビリテーションを他職種と共通の治療目標を同時に理解しながら行うことができる。	3 前	20	1	○		△	○			○	
○		卒業研究 Graduation Research	歯科衛生士業務に関する事例を挙げ解決方法やとるべき行動についてグループ討議をしプレゼンテーションを行う。	3 前	30	1	△	○		○			○	
○		臨床実習 Clinical Practice	歯科臨床及び公衆衛生等の場や老人保健施設において、円滑に業務を行う能力を十分身につける。	3 前	900	20			○	△	○	○		○
合計					58 科目				2592単位時間(97 単位)					

卒業要件及び履修方法		授業期間等	
		1 学年の学期区分	2期
		1 学期の授業期間	20週

(留意事項)

- 1 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合
- 2 企業等との連携については、実施要項の3(3)の要件に該当する授業科目について○を付すこと。